

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 塩那森林管理署
所在地	栃木県塩谷郡塩谷町・矢板市
面積	616.34 ha
設定年	2006(H18)年
保護林の概要 (設定目的)	当該地域の代表的な群落であるミズナラ林や、太平洋側気候域に残された原生的なブナ・イヌブナ林を主体とする地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資するため設定した。



イヌブナ群落(2019.09.23撮影)



ブナ・ミズナラ群落(2019.10.07撮影)

モニタリング調査概要

実施年度	2014年、2019年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、動物調査等
調査手法	森林詳細調査として、ブナ・ミズナラ群落、イヌブナ群落等の生育地において調査プロットを合計4箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に1つの調査ルートを設定し、保護林内における出現種を把握。
結果概要	ニホンジカの痕跡が複数確認されており、調査プロットでは低木層、草本層ともに、ニホンジカの採食圧による植被率の低下が見られる。上層木を構成するブナ、アスナロ、ダケカンバ等は健全に生育しているが、稚樹・実生の個体数が少なく、ニホンジカの採食圧により、今後下層植生に変化が生じる可能性がある。今後の植生変化を注視する必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。